

各 位



会社名 不二サッシ株式会社
代表者名 代表取締役社長 江崎 裕之
(コード：5940 スタンダード市場)
問合せ先 管理本部経営管理部長 町田 仁
(Tel 03-6867-0777)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、東京証券取引所からの「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」の要請を受け、あらためて資本コストおよび収益性等に関する現状分析を実施し、将来の企業価値向上に向けた方針・戦略等を検討してまいりました。

本日開催の取締役会において、以下のとおり現状分析等しましたので公表いたします。

1. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて(概要)

当社は、株主をはじめとした全てのステークホルダーの皆さまからのご期待にお応えすべく、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に努めてまいりました。

この様な状況のなか、2023年3月の東京証券取引所からの要請を踏まえ、あらためて資本コストや株価を意識した経営の実現に関する現状分析を行っております。

今後はこれを踏まえ、企業価値のさらなる向上に向けた戦略・施策を、あらためて検討・実施してまいります。

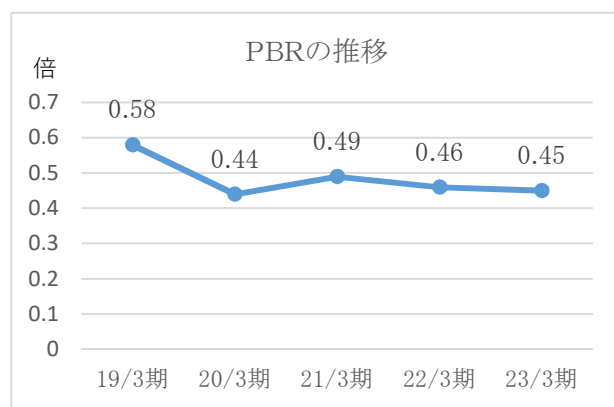
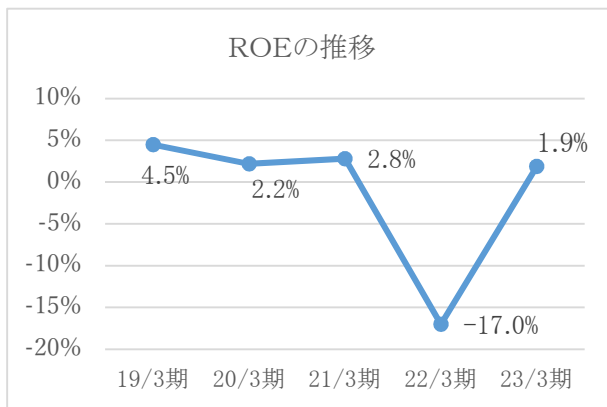
当社では2016年3月期以降「PBR1倍割れ」の状態が続いております。

まずは収益力の向上を目指すべく、相応水準のROEの達成とあわせ、今後見込まれる有形・無形の資産への投資にあたり、効率化効果の徹底追及と財務レバレッジ改善を両立させるべく、投資対象の選別とグループ資産のさらなる有効活用を図ってまいります。

今後、その達成状況などについては、決算説明資料ならびに経営計画等にて適宜開示してまいります。

2. 現状分析

- ・当社はリーマンショック等の危機を、大規模なリストラや資本増強等により乗り越え、2017年3月期より復配も実現し現在に至ります。
- ・その後、市場競争の激化や、最近ではアルミ地金や諸資材価格の高騰の影響を受け、2022年3月期には固定資産の大幅な減損処理を実施いたしました。
- ・現状、最大の課題は「稼ぐ力」にあると考えます。現・中期経営計画においては、DXによる生産性の向上、物流をはじめとする周辺事業やリニューアル事業等、今後の成長が見込むことができる事業へ注力し事業領域の拡大を目指しております。



- ・当社の現中期経営計画における最終年度(2024年度)の目標ROEは8.0%以上としています。
- ・PBR向上のため、収益力強化は最重要課題ですが、同時に、今後の積極的な事業展開のための投資等に備え一層のグループ資産の有効活用は不可欠であり、総資産回転率や財務レバレッジのさらなる改善も必要と認識しております。

$$\begin{array}{rcl}
 \text{PBR} & = & \text{ROE (株主資本利益率)} \times \text{PER (株価収益率)} \\
 0.45 \text{ 倍} & & 1.90\% \quad \quad \quad 24.2 \text{ 倍}
 \end{array}$$

- ・また、脱炭素経営の実践・人的資本への投資等の非財務情報についても、今後積極的に開示してまいります。

3. 今後の方針(PBR改善に向けた対応)

- ・現在取組中の中期経営計画(2022-2024年度)の基本戦略は、着実な成果実現に向け追加施策等の検討・実施が必要であり、現在実施計画等につき見直しを開始しております。
- ・今後は、目標達成状況とその理由に加え、PBR改善に向けた具体的対策についても開示してまいります。
- ・今後、更なる現状分析を行い総資産回転率や財務レバレッジについての対応も公表させていただきます。

以上